

に法で構えていき音を約はシ

## 親子体操や食育講

席。広瀬孝子代表(66)は、新型コロナウイルスの影響で相談活動が制限されていると課題を挙げ、「研修などに参加するなどしながら保護者の支援を続けていきたい」と話していた。(井上華菜子)

# 冒険家の父

## かつこいい

松山 河野兵市さん長男講演

伊方町出身の冒険家  
河野兵市さん(1958~2001年)  
の長男逸兵さん(28)が  
13日、松山市上野町の県生涯学習センターで講演した。地球を舞台とし、自分の思いにまっすぐ進んでいつ

た父親の「かつこいい生き方」について語った。

自作のいかだを使つたアラスカ・ユーロン川での下りや自転車での南米大陸縦断など、さまざまな手法で旅をした兵市さん。逸兵さんは、父親が多方向

跡を残したが、01年に北極点から古里の伊方町(旧瀬戸町)を目指す旅の途中で遭難死した。

の視点からの冒険を通じて世界の見え方が

メソのサマーハイキングの父としての姿や、一度の食事でランチの片手を平らげていたエピソードも

ドファンディングは

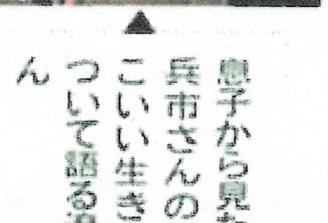
当初の目標の100万円を突破。150万円を目指し、2月28日まで寄付を募っている。

5ネバーギブアップ  
『強い気持ちを持って生きる』そんな生き方  
北極点への挑戦

▲



▲



▲

息子から見た河野兵市さんの「かっこいい生き方」について語る逸兵さん

いる場所から一步前に踏み出す勇気のことだ」という兵市さんの言葉を引き合いにしたが、一番強かったのは気持ちだった。始めたことを続けることが成功への第一歩とまつたく違うと気付いていたと紹介しました。

子どもと一緒に風呂に入ったり、特朗普遊びをしたりする「昔通」の父親としての姿や、一度の食事でランチの片手を平らげていたエピソードも

語った物語の絵本の出版を目指すクラウドファンディングは、当初の目標の100万円を突破。150万円を目指し、2月28日まで寄付を募っている。

企画展は3月13日まで。兵市さんが生前語った物語の絵本の出版を目指すクラウドファンディングは、当初の目標の100万円を突破。150万円を目指し、2月28日まで寄付を募っている。

(杉本賢司)

冒険家として活動した父親の足跡を振り返る逸兵さん



▲

▲